

第三者評価結果

事業所名：いちご保育園

共通評価基準（45項目）

I 福祉サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者評価結果
【1】 I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<コメント> 法人は園の目指す姿を明文化しており、「ずっと」というキーワードを掲げて保育の運営に努めています。園の保育理念・基本方針はパンフレットや園のホームページにて明記しており、保護者に周知しています。職員は年度初めの職員会議にて保育理念・基本方針を読み合わせしており、共通理解のうえ保育に取り組んでいます。	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者評価結果
【2】 I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<コメント> 地域の社会福祉全体の動向などは、川崎市が配信している情報や会議など通じて情報収集をおこなっており、区役所に地域の動向などを定期的に確認しています。園では経営状況の把握・分析は会計士と毎月の財務諸表にて確認しています。	
【3】 I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
<コメント> 園は0・1・2歳児を対象とした小規模保育園のため、卒園後の進級先という課題があり園児数の減少傾向にありました。法人では経営課題に対する具体的な取り組みとして、姉妹園を認可化移行し連携保育園としたことで入園希望者が増大するなど、組織的に取り組んでいます。	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
【4】 I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
<コメント> 法人では中長期計画を策定しており、保育内容・人材体制・環境設備・地域連携・経営と5つの項目に分けて目標を明確にしています。園では、保育室の床の張り替えや保育室のガラス激突防止など、こどもの安全・安心を第一優先として改善に向けて具体的に検討しています。	
【5】 I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
<コメント> 中長期計画を踏まえた単年度計画を策定しており、設備環境については業者に見積もりを依頼するなど具体的に実行しています。また、地域連携に関しても地域向けヨガ教室の開催など、地域の子育て家庭支援に取り組んでいます。	

(2) 事業計画が適切に策定されている。	
【6】 I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
<コメント> 保育計画は職員からの意見を踏まえて園長が作成しており、会議では保育内容の確認や共有をして保育に努めています。園では、日々の打ち合せのほか保育会議を毎月おこなっており、こどもの様子や園の運営について実施状況の把握や評価・見直しをおこない保育に反映させています。	
【7】 I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
<コメント> 園での年間行事は年度初めに保護者に周知しており、保護者が行事に参加しやすいよう理解を促しています。また、園だよりなど通じて行事の詳細を伝えており、こどもの成長を見ていただく機会として取り組んでいます。	

4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者評価結果
【8】 I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<コメント> 園ではPDCAサイクルを通じて保育の質の向上に向け、職員の自己評価や第三者評価の受審など組織的に取り組んでいます。指導計画に基づき保育をおこなっており、昼礼・保育会議・職員会議で問題点や改善策を話し合っています。職員は自己評価シートにより自身の保育を振り返っており、施設管理責任者・園長で確認のうえ個人面談をおこなっています。	
【9】 I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
<コメント> 園では各会議において取り組むべき課題を明確にしており、議事録で職員全員が情報共有しています。職員の自己評価結果を分析し、課題改善するために職員研修の実施や姉妹園とのディスカッションを取り入れるなど保育の質の向上に向けて取り組んでいます。	

II 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者評価結果
【10】 II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<コメント> 園では職務分担表にて職務内容を明文化しており、年度初めに職員体制と職務内容を周知しています。また、事業継続計画（BCP）を作成しており、災害警戒時の担当別の業務内容など職員会議で確認しています。	
【11】 II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<コメント> 遵守すべき法令などは会議や研修などで情報収集しており、正しく理解して園の運営に取り組んでいます。園の取り引き関係業者は相見積もりを取り適正な関係を保持しています。職員とは会議を通じて関係法令や行政からの通知を共有しており、理解を深めて保育に努めています。	

<p>【12】 II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。</p>	a
<p><コメント> 施設管理者は、日々現場に入り記録をとりながら保育の現状について把握しています。園では保育の質の向上を図るため、毎週園内研修を実施しています。研修では職員が順番で講師を務めており、講師をすることで伝え方を学び保護者との円滑なコミュニケーションにつなげています。</p>	
<p>【13】 II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	a
<p><コメント> 施設管理者は財務状況を把握しており、会計士と分析し経営の改善や業務の実効性の向上に向けた取り組みに努めています。園では事務業務のICT化を取り入れることで、連絡帳・こどもの記録・保育計画の作成など職員の事務負担の軽減に取り組んでおり、職員の働きやすい環境づくりや同じ方向性を共有するチームワークを築くため指導力を発揮しています。</p>	

2 福祉人材の確保・育成

<p>(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>【14】 II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p>	a
<p><コメント> 職員の採用は施設管理者と園長が主体となり、具体的な計画を立て採用活動を実施しています。法人では、職員からの紹介制度・資格取得支援・復職支援など人材確保に積極的に取り組んでいます。</p>	
<p>【15】 II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。</p>	a
<p><コメント> 法人では、期待する職員像を明確にしており「職員の心得10か条」を定めており、保育理念や園の目指す方向性を職員に周知しています。職員は自己評価結果を元に面談をおこない、自身の保育の評価・反省や取り組むべき課題を明確にしています。人事評価は施設管理者と園長とで総合的に判断する仕組みを整備しています。</p>	
<p>(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</p>	
<p>【16】 II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>	a
<p><コメント> 園では「職員がずっと働きたいと思う保育園」と掲げており、職員の働きやすい職場づくりに取り組んでいます。職員の希望を聞きながら、勤務シフトを作成しており、有給休暇の取得状況は給与明細に記載して把握できるようにしています。職員の事務業務をICT化することで、時間外労働の削減に努めており、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みをおこなっています。</p>	

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
【17】 II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
<コメント> 職員には、期待する職員像として「職員の心得10か条」を周知しており、各自で自己目標を設定しています。園では、職員の外部研修の参加を支援しており、勤務シフトの調整や受講費・交通費の負担をしています。研修の受講後は、職員に報告を兼ねた園内研修をしており職員間で情報共有して保育サービスの質の向上に向けた取り組みに努めています。	
【18】 II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<コメント> 職員は、園の理念である「ずっと」を理解しており、取り組むべき保育の方向性を共有しています。園内研修では、「子どもの気持ち」・「保護者の気持ち」・「職員の気持ち」について話し合っており、開園時から「ずっと」こども・保護者・職員を一番に考える園として取り組んでいます。必要とされる専門技術として、心肺蘇生法やAEDの使い方などは看護師から実践的な研修を受けています。	
【19】 II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
<コメント> 園では、職員一人ひとりの専門資格や研修の受講状況を把握・管理しています。キャリアアップ研修の受講は、職員からの希望制としていますが、園での必要性や職員の適性により受講を勧めることもあります。キャリアアップ研修は、職員が公平に受講することができるよう勤務調整など管理しています。	
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
【20】 II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
<コメント> 園は小規模保育園であり乳児は月齢による発達の個人差が大きく、こども一人ひとりに丁寧に関わる保育に努めています。実習生の受け入れに関しては地域貢献に繋がると考えており、実習生の研修・育成に関する基本方針を明文化し受け入れマニュアルの整備などの取り組みが期待されます。	

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
【21】 II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	
<コメント> 運営の透明性を確保するために、園のホームページや中原区の広報を通じて適正な情報公開をおこなっています。保護者には、重要事項説明書にて苦情相談窓口や第三者委員の設置を周知しており、運営委員会の開催など情報公開に努めています。		
【22】 II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	
<コメント> 職務分掌では職務内容や責任者を周知しており、適正な経営・運営に取り組んでいます。川崎市の監査では指摘事項があった場合は、法人や職員と情報共有を図り迅速に改善報告書を提出しています。		

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
<p>【23】 II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p>	a
<p><コメント> 園では中長期計画にて地域貢献活動を掲げており、他園との連携や保護者コミュニティの立ち上げなど積極的に取り組んでいます。近隣保育園と合同保育を取り入れるなど、子どもにとって日常とは違う交流を広げる体験につなげています。保護者には、玄関に病児・病後児保育の受け入れ先一覧を掲示しており、地域で活用できる施設の情報提供をしています。</p>	
<p>【24】 II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p>	b
<p><コメント> ボランティアの受入れに関する基本姿勢の明文化や、受け入れなどについて検討が期待されます。地域の学校教育に協力しており、小学生の「まちたんけん」では、保育士がインタビューを受け交流を図っています。</p>	
<p>【25】 II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p>	a
<p><コメント> 園では関係機関などの連絡先を一覧にして掲示しています。嘱託医とは健診以外にも歯科セミナーや歯磨き指導など、子どもの衛生・保健に関する協力を得ています。地域の療育センターの職員が定期的に訪問し、相談や助言など受けており子どもの成長に関して連携が図れています。</p>	
<p>(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>	
<p>【26】 II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。</p>	a
<p><コメント> 施設管理者は各会議や町内会など通じて地域の情報を収集しニーズを把握しており、職員と必要な情報を共有しています。園では、定期的に親子ヨガ教室を開催しており、ママのリフレッシュタイム・情報交換・育児相談など子育て家庭支援に取り組んでいます。</p>	
<p>【27】 II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p>	a
<p><コメント> 町内会に加入しており福祉ニーズの把握や、商店街の活動に積極的に参加しています。防災については、地域に向けてAEDの設置や子ども110番のプレートを掲示板で知らせています。</p>	

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施
1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
<p>【28】 Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。</p>	a
<p><コメント> 職員は、保育理念や「職員の心得10か条」に基づき子どもを尊重した保育について、園内研修など通じて共通理解のうえ取り組んでいます。玄関には、「人間としての大切な子どもの権利」「子どもにとって大切な7項目」を掲示して保護者に周知しており、子どもの尊重について理解を深めて保育に努めています。</p>	
<p>【29】 Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。</p>	a
<p><コメント> 園は子どものプライバシー保護に関するマニュアルを整備しており、職員は子どものプライバシーに配慮した保育に努めています。保護者には入園時にプライバシー保護について説明しており、園では適切に取り組んでいます。</p>	
<p>【30】 Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。</p>	a
<p><コメント> 園のパンフレット・ホームページでは、保育内容の1日のながれを伝えています。園見学は随時受付けており、園の取り組みや特徴について説明し、保育の様子を見てもらっています。また、見学者からの質問にも丁寧に対応するよう心掛けております。</p>	
<p>【31】 Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。</p>	a
<p><コメント> 園では入園前に重要事項の説明や子どもの成育歴や家族状況、配慮事項など個別にヒアリングをしており、入園時に重要事項と個人情報取扱いに関する同意書の提出をお願いしています。配慮が必要な保護者には施設管理者が対応しており、適切に説明しています。</p>	
<p>【32】 Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。</p>	a
<p><コメント> 園は小規模保育園ため2歳児で卒園となりますが、姉妹園が連携保育園となっており職員の連携が図れていることから、継続した保育がおこなわれています。保護者も3歳児からの保育園探しの心配が無く、定期的に懇親会を実施しており保護者支援の継続性にも配慮しています。</p>	

(3) 利用者満足の向上に努めている。

【33】 Ⅲ-1-(3)-①
利用者満足の上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。

a

<コメント>

園は目指す姿として、子どもたちが「ずっと」遊んでいたいと思う保育園、保護者が「ずっと」通わせたいと思う保育に取り組んでいます。日々の保育では、子どもの表情などから子どもの満足を把握するように努めており、子どもの様子を保護者と共有しています。園では、保護者会と懇親会を開催して保護者同士の繋がりを大切にしており、卒園後にOB・OG会として子どもと保護者が集まる機会を提供しています。

【34】 Ⅲ-1-(4)-①
苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。

a

【判断した理由・特記事項等】

園の玄関に苦情解決の概要を掲示しており、苦情受付担当者・解決責任者・第三者委員とそれぞれの連絡先を明記し保護者に周知しています。苦情解決の仕組みが確立しており、園長会議や職員会議において問題の把握から解決まで組織的に対応しています。

【35】 Ⅲ-1-(4)-②
保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。

a

<コメント>

保護者には、園の誰にでも気軽に相談や要望を伝える事ができることや、いつでも個人面談をおこなう旨を入園時に伝えています。園だよりや保健だよりには、「ご意見・ご要望をお聞かせください」と担当者・連絡先を明記し周知しています。保護者との面談の際は、他の保護者に見られない・聞こえないよう環境に配慮しています。

【36】 Ⅲ-1-(4)-③
保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。

a

<コメント>

保護者とは送迎時などコミュニケーションを図り、気軽に相談ができるよう心掛けており、園内研修では、職員全員で「保護者の気持ちについて考える」について保育観を話し合っています。保護者の方に運営委員を委嘱しており、意見交換をしています。

【37】 Ⅲ-1-(5)-①
安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。

a

<コメント>

園は安心・安全な保育サービスを提供するために各マニュアルを整備しています。お散歩マップを作成しており、注意する箇所や、子どもの飛び出しなどの危険箇所などわかりやすく表示しています。さらに、信号待ちする際の注意事項や横断歩道の渡り方、子どもの安全を守るため黄色い横断旗を使用するなどリスクマネジメント体制を構築しています。

【38】 Ⅲ-1-(5)-②
感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。

a

<コメント>

感染症対策マニュアルを整備しており、職員は季節性感染症が流行する前に園内研修でマニュアルの読み合わせをおこない周知徹底しています。保護者には玄関のホワイトボードを活用して感染症の発生状況を迅速に情報共有しており、保健だよりにて予防対策など注意喚起しています。

【39】 Ⅲ-1-(5)-③
災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。

a

<コメント>

法人では、BCP（事業継続計画）を作成しており、災害時の行動手段や役割分担を明記しています。重要事項説明書には、避難場所・緊急時の伝言方法・備蓄品リストを明記しており保護者に周知しています。園では、毎月の避難訓練と避難確保計画に基づく訓練を実施しています。

2 福祉サービスの質の確保

(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
<p>【40】 Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。</p>	a
<p><コメント> 園では安定した保育サービスを提供するために、各種マニュアルを整備しています。マニュアルはタブレットで管理しており、職員はいつでも確認することができます。また、毎月の保育会議では、こどもの人権に配慮した保育について話し合っており、こどもの発達や個性など情報共有して多様性を尊重した保育に努めています。</p>	
<p>【41】 Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	a
<p><コメント> 日々の保育がマニュアルに沿っておこなわれているか、こどもの状況にマニュアルが適しているか定期的に見直しをする仕組みが確立しています。会議ではこどもの発達や個性に合わせた保育を日々話し合っており、こども一人ひとりに合わせて柔軟に対応した保育に努めています。</p>	
<p>【42】 Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。</p>	a
<p><コメント> 保護者とは入園前に面談をおこなっており、児童票で子どもの成育歴や成長過程を把握し指導計画の作成をしています。職員会議では、保育士・看護師・栄養士とそれぞれの専門的立場からの情報交換をしています。保護者とは送迎時の会話で家庭や園での様子を情報交換しており、指導計画を作成しています。</p>	
<p>【43】 Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。</p>	a
<p><コメント> 指導計画は年度初めに担任が作成しており、期ごとに評価・振り返り・見直しをする仕組みを整えています。保育会議ではこどもの様子を共有しており、状況に合わせて見直し翌月の指導計画に反映しています。保護者には保育の理解を深めてもらえるよう、送迎時や園だよりを通じてクラスの様子や保育のねらいを周知しています。</p>	
<p>【44】 Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p>	a
<p><コメント> こどもの保育内容は個人別に記録しており、適切に保管しています。園ではこどもの記録をする際の決まりとして、事実のみ記録し推測によるものは記録しないと徹底しています。職員の早番から遅番への引き継ぎは連絡事項ボードを使用しており、担当者が連絡事項を記入し保護者に伝達漏れがないようにしています。</p>	
<p>【45】 Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。</p>	a
<p><コメント> 個人情報保護管理規程に基づき、こどもや保護者の情報などは鍵付きキャビネットで保管・管理しています。職員には個人情報の取扱いに関する園内研修の実施をしており、守秘義務などの理解を促しています。保護者には入園時に個人情報の取扱いについて説明し同意の確認をしています。</p>	